

11
November

地域の元気企業ガイド コロナブス総研



アイ・グローカルグループ 代表
燕木優典さん

『これからのベトナムビジネス2020』で 最新のベトナムビジネスの動向とポイントを紹介

私は2003年にベトナムで会計事務所を立ち上げ、今はベトナム(ホーチミン、ハノイ、ビンズン)とカンボジア、そして東京に拠点を設け、約1000社超の日系企業のベトナム

ビジネス、カンボジアビジネスをサポートしています。

時代は平成から令和へと移り変わりましたが、ベトナムの変化は日本以上に激しく、GDP成長率は現在も6~7%台で推移しており、18年のGDP成長率は7.1%と過去10年間で最も高い数値を記録しました。その高い成長率は街並みにも大きな変化をもたらしており、ハノイやホーチミンといった都市やその周辺ではつねに大規模な開発が進み、あらたなビルが次々と建設されています。もちろん、日系企業も積極的に開発に携わっており、ビンズン市のまちづくりを進める東急グループ、ダナンで一大観光リゾートを建設中のホテル三日月グループなどの事業はベトナムでも大いに注目を集めています。また、12年頃からは中小企業の進出も相ついでおり、18年における日本からの対ベトナム直接投資件数は過去最高の643件(新規・拡張を合算)に上っています。

が、その一方でベトナムビジネスを取り巻く環境も大きく変化しており、それまでの常識が通用しないケースもしば

しば生じるようになってきました。

そこで、私は以前にベトナムビジネスのプロフェッショナルたちとともに出版した『これからのベトナムビジネス』という書籍をリニューアルすることにしました。あまりベトナムに興味がない人たちにも、ベトナムビジネスの入門書として興味を持っていただけるよう、コラムやインタビューなどをふんだんに盛り込みながら、ベトナムビジネスの動向とポイントを紹介したいと思います。また、先述した東急グループやホテル三日月グループのほか、ベトナムの即席麺業界で圧倒的なシェアを誇るエスニックなどのトップ企業のロングインタビューも掲載するので、ベテランのベトナム駐在員にとっても示唆に富んだものになるはずで。2019年末をメドに『これからのベトナムビジネス2020』(発行:東方通信社)として刊行予定ですので、ぜひともご期待ください。

また、こうしたベトナムの急激な変化を踏まえ、私たちは今後、おおむね5年おきにこの本をアップデートし、最新版を出版していきたいと考えています。将来的にはこのシリーズを読み比べることで、ベトナムビジネスの大きな潮流を捉えることができるようになるはずで。ベトナムビジネスのワクワク感をひとりでも多くの皆さんと共有できればと思います。

今月のContents

全国のニッチトップ企業11社

- 北海道(有)COM泉屋 / 東北(株)半澤鶏卵 / 関東(株)アイ電子工業
- 東京(一般財団法人)森林環境整備財団 / 甲信越(株)天野製作所 / 北陸(株)漆琳堂
- 東海(本陣平野屋 花兆庵) / 近畿(株)大滝工務店 / 中国(鳴本石材株)
- 四国(株)タナカショク / 九州(株)AEトランスポート / 沖縄(ポークたまごおにぎり本店株)

地域力データパック 47都道府県&東京23区

地域色豊かな観光、産業関連の情報が満載。景気月報も要チェック!!